

石炭 は、新疆に於ける諸礦物中、最も多量の産額を占めたり。往古より採掘したるは伊犁附近にて、其の炭礦數二十四箇所に及びしも、現今は三十四箇所に増加し、而も其の産出の最も著名なるは、烏魯木齊城西の沙崗と、伊犁の崆郭羅鄂博山コンクラオボなるが、其他有名なるもの少なからず。伊犁地方に於ては、斯の如く數多の鑛山より採掘し、其の産額莫大なる爲め、薪炭の價頗る廉なり。されば、産出石炭の過半は年々露領に輸出せらる。以上諸山の炭脈は、甚だ廣大にして、其の炭質亦た佳良とす。

石油 天山々中の處々に産すと云へども、土人は未だ其の製法を知らず。隨て之を使用するものなきは遺憾なり。

伊犁將軍は、將來大に新疆の交通を開き、鑛業を經營するの計畫あれば、今後將軍の手腕に頼りて、交通運輸の便開け、且つ熟練の技師を用ひて、諸炭山の採炭法を改良擴張せらるゝなるべく、又技師をして石油の精製法を行はしめ炭鑛と相待て事業を經營せば、將來其の産額を増加し、以て新疆一般の需用に充たしむるのみならず、支那本部及外國に輸出し、多大の利益を得べきは疑を容れざるなり。